



三 愛 だ よ り



発行 原則毎月第 2 木曜日

事務局 三木市細川町増田 1204 番地 発行責任者：北村

ホームページ <http://mikisizen.gl.xrea.com>

夾竹桃から坂 髪揺り 登校少女/伊丹三樹彦

☆2025 年度通常総会と記念講演会を開催しました☆

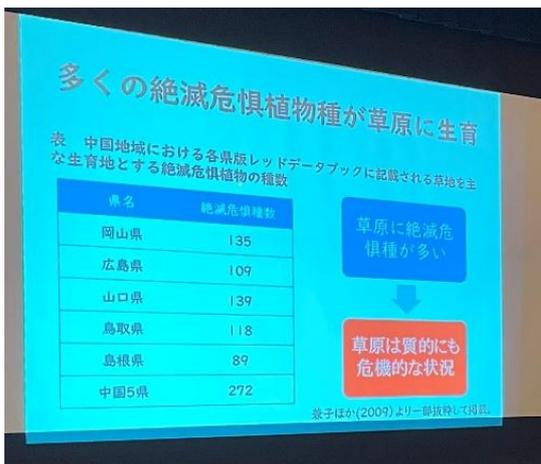
5 月 17 日(土)、市民活動センター3 階大会議室で仲田市長、大眉市議会議長、村岡県議会議員、大北教育長を来賓に迎え、本年度の通常総会を開会。北村理事長のあいさつと小倉滋初代理事長へ卒寿記念品贈呈、来賓あいさつの後、議事に移りました。まず、定足数は、出席者 25 名、委任状 16 名で合計 41 名となり正会員数 76 名の過半数を上回り、総会が成立したことを確認。次に議長を選出し議案審議を行いました。2024 年度事業報告並びに決算報告、監査報告、2025 年度の事業計画並びに予算案の合計 5 議案は、いずれも可決されました。



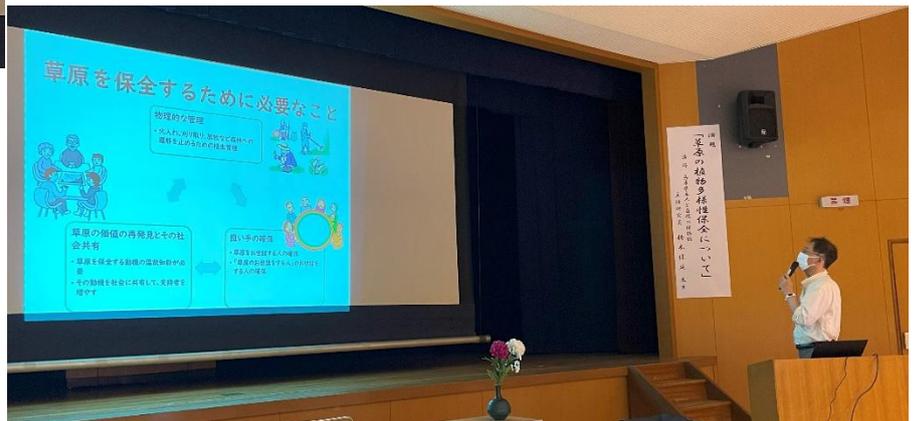
橋本佳延氏による記念講演会

「草原の植物多様性保全について」

兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員の橋本さんから、草原の植物多様性保全について六甲山地の東お多福山草原での活動実例などパワーポイントを見ながら聞きました。日本の草原は「自然草原」「半自然草原」「人工草原」に大別されます。増田ふるさと公園など日本の草原の大半が「半自然草原」であり、火入れ、刈り取り、放牧など人間の活動が樹木の侵入、定着を防いできたことは、人の暮らしにとって草原は価値があったからです。第 2 次世界大戦後のエネルギー革命により、人の暮らしが変化し、半自然草原面積は国土面積の 1%以下に減少。また、草原に生育する絶滅危惧種も危機的状況であり、周辺より侵入するネザサによる草原の質的变化は、種多様性の低下の原因にもなっています。



これからの草原保全に必要なことは、担い手の確保、草原価値の再発見とその社会共有が必要であり、植生管理と組織管理のバランスが重要など、今後の本会活動に示唆に富む講演をしていただきました。



5 月中旬～6 月中旬の事業報告

5 月 12 日(月) 北播磨県民局イベント打ち合わせのため来園 10:00 理事長対応

5 月 16 日(金) 総会会場準備 14:00-16:00 市民活動センター 会員 11 名

5 月 17 日(土) 通常総会、記念講演、昼食懇談会 9:20-14:00 市民活動センター

5 月 20 日(火) ヤブレガサモドキ株数調査 8:00-9:00 ネスタリゾート神戸 会員 11 名

ネスタ合計 947 株(その内葉 2 枚は 78 株)。葉 2 枚の花茎を出した株は増えた。よく草刈りをして夏でも日当たりを良くすると、地下部に栄養を溜めることで次の年に花茎を出す株が増えるのだと思われる。また花茎を出しても夏に草に覆われると結実がうまくできなくなり次の年に発芽する種子が減るとと思われる。(丸岡会員まとめより抜粋)



5 月 24 日(土) ふるさと公園植生調査と草刈り 雨天中止

5 月 27 日(火) 三木市との情報交換会 15:30-17:00 三木市役所 市職員 12 名、会員 6 名
北村理事長の「外来動植物の脅威 増田ふるさと公園におけるザリガニ退治の経過報告&最も警戒すべき外来生物」についての講義後、3グループに分かれてグループワークを行いました。

5 月 28 日(水)、29 日(木) ふるさと公園草刈り 10:00-12:00 会員 4 名

5 月 29 日(木) 三役会議

6 月 1 日(日) 初夏の生き物かんさつ会&サツマイモ苗植え 10:00-12:00 一般 2 家族 4 名 会員 14 名



6 月 3 日(火) 三木市青年会議所6月例会講演会 市民活動センター 19:00-21:00 北村理事長、植田副理事長

6 月 4 日(水) 豊池小学校環境体験学習支援 10:30-12:00 児童 9 名 教員 2 名 会員 4 名



6 月 5 日(木) 活動推進連絡会 19:00-21:20 市民活動センター 会員 8 名

6 月 8 日(日) ふるさと公園草刈り 10:00-11:00 会員 4 名

6 月 12 日(木) 三愛だより発送作業 14:00 市民活動センター

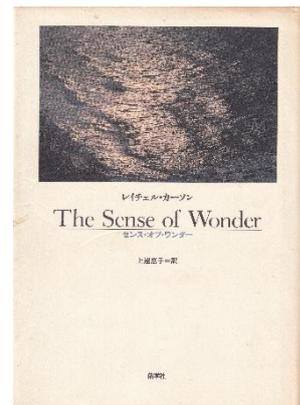
6月中旬～7月 事業活動予定表

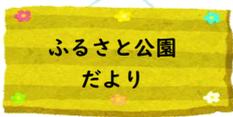
日	曜日	内容等	日	曜日	内容等
6 月			7 月		
13	金		8	火	
14	土		9	水	
15	日	脇川教海寺草刈り 9:00	10	木	三愛だより発送作業 14:00
16	月		11	金	
17	火		12	土	
18	水		13	日	ふるさと公園植生調査
19	木	-市民活動センター休館日-	14	月	
20	金	水の中の生き物大発見 会場準備 15:30	15	火	
21	土	水の中の生き物大発見 会員集合 8:00 受付 9:00	16	水	
22	日		17	木	-市民活動センター休館日-
23	月	三役会議	18	金	
24	火	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ミドリシジミ</p>  <p style="text-align: center;">2025年6月2日 理事長撮影</p> </div>	19	土	
25	水		20	日	
26	木		21	月	-海の日-
27	金		22	火	
28	土		23	水	
29	日		24	木	三役会議
30	月		25	金	
7 月			26	土	北播磨県民局主催 増田ふるさと公園観察会
1	火		27	日	
2	水	豊地小学校環境体験学習支援 10:30	28	月	
3	木	活動推進連絡会 19:00 市民活動センター	29	火	
4	金		30	水	
5	土		31	木	
6	日				



掲示板

アメリカの海洋生物学者でありベストセラー作家でもあったレイチェル・カーソンは、環境汚染と破壊の実態を告発した「沈黙の春」を1962年に出版。1964年4月に56歳の生涯を閉じたが、生前雑誌に掲載された文書を翌年友人らが一冊の本にまとめたのが「センスオブワンダー」。「子どもたちに自然をどのように感じとらせたらいいか悩む人々へのおだやかで説得力あるメッセージを送り続けてくれるだろう。」(訳者あとがきより)日本では、1991年6月30日上遠恵子さんの翻訳で佑学社から、1996年7月以降は新潮社から出版されています。アメリカでの出版以来60年となっても色あせることのない内容は、環境教育の羅針盤として、ますます輝きを放っています。





6月初めにササユリの花の持ち帰りがありました。ここは里山に住む貴重な動植物の保護区です。ふるさとの自然を愛するみんなの心が、小さな生き物たちを守っています。「公園」と名が付いていますがベンチや遊具などはありません。市民の財産である豊かな自然と貴重な生物を守るのが趣旨です。【 】内は撮影日です。



モンキアゲハ【5月9日】



アカシジミ【6月2日】



タツナミソウ
【5月15日】



イシモチソウ【5月29日】



モウセンゴケ
【5月29日】



モノサシトンボ【5月29日】



キイトンボ【5月29日】



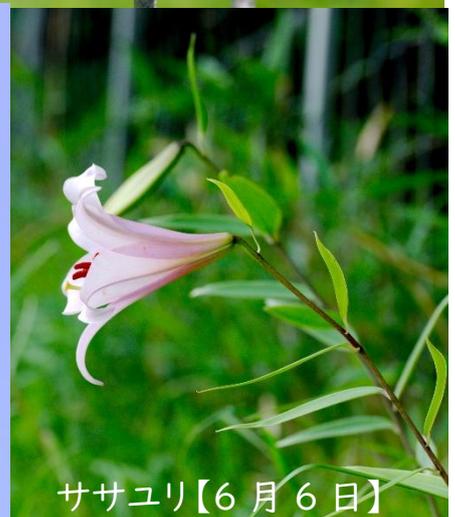
シオカラトンボ(メス)【6月4日】



オカトラノオ【6月6日】



スズサイコ【6月6日】



ササユリ【6月6日】



ヤマサギソウ【6月4日】